

令和5年度 指定管理者年度総合評価表

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

作成日	令和6年6月4日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	グリーンプラザなんごう	
所在地	八戸市南郷大字中野字館野4-4	
施設概要	設置目的：恵まれた自然環境とのふれあいを通して、都市住民との交流を図り、地域振興に資する。 構造：鉄筋コンクリート造2階建て 運用方針：南郷地域における地域内外の交流拠点として幅広いサービスを提供。	
指定管理者	名称	なんごうプラザ株式会社
	代表者	代表取締役 曾我 安博
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢44-33
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
指定管理者の業務	・グリーンプラザなんごうの使用許可に関する業務 ・グリーンプラザなんごうの施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市所管課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ	
	電話	0178-82-2113 (直通)
	e-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後も、手指消毒等の基本的な感染症対策を継続して営業を行った。 食堂の利用者数は前年度を上回り、売上も回復傾向にあるが、農産物直売所は、春先の冷害の影響により人気商品であるさくらんぼやりんごの陳列数が例年より減少した。このような中、地元業者の加工品や当社オリジナル商品等、農産物以外の商品を充実させることで利用者数の増加を図ったが、前年度を下回る結果となってしまった。 宿泊部門では、宿泊者が減少する冬期に、八戸ワインを提供する宿泊プランを新たに提供したところ、44名の利用者があり、冬期の宿泊者数が例年より2割ほど向上した。 施設の老朽化に伴う備品の入れ替えや修繕を順次進めており、市担当者と情報を共有し、施設利用者へのサービス提供に支障がない時期に実施することができた。
今後の目標	引き続き基本的な感染症対策を実施しながら営業を行う。 農産物直売所の納品者が減少していることから、これまで南郷地域に限定していた納品者を八戸市全域に拡大し、農産物陳列数の充実を図る。さらに、南郷地域に特化した当社オリジナル商品の開発を進める。 宿泊部門では、好評だった八戸ワインを提供する宿泊プランを引き続き提供し、飲食部門では、南郷そばをメインに南郷地域の特徴を活かしたメニューを提供する。 老朽化した施設内の備品や機器の更新計画については、市と協議・連携を取りながら進めていく。 今後も、安心・安全に施設を管理運営することで、利用者数向上に寄与し、南郷地域の振興につなげていきたい。

■市（所管課）の総合評価

評 価	施設・設備等の保守点検や清掃業務を堅実にっており、安全かつ快適な環境整備に努めていた。経年劣化による施設等の修繕箇所を早期に発見し、市と連絡を密にしながら適切に修繕を実施していた。宿泊部門や食堂部門では、新たなプランを導入する等して利用者数を増加させることができた。 利用者数が減少傾向にある直売所部門においては、積極的な新規取組の実施により、利用者の増加を期待したい。
指摘事項	特になし。

〔評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能〕

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が順守されていた。
障がい者の雇用状況	○	提案内容のとおり雇用していた。
協働のまちづくりへの協力	○	提案内容とおおむね同水準の地域貢献活動が行われていた。 ・施設前歩道の清掃、草刈り、除雪作業を行った。 ・南郷地域の関係団体と協力して「南郷の日」イベントを開催した。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	—	申請なし。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
付保する保険	○	協定書で指定する保険に加入していた。 ・自動車保険（任意）に加入していた。 ・食品営業賠償共済に加入していた。

指定管理開始前における準備	—	前期（令和元年度～5年度）に引き続き、今期（令和6年度～10年度）においても継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条例の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特種業務については、外部委託を実施し、報告書等で実施内容を確認した。 ・ボイラー点検 ・防火設備点検 ・消防設備点検 ・重油地下タンク点検 ・貯水槽点検 ・建築設備点検 ・廃棄物処理

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
宿泊・研修施設利用状況 （指定管理業務）	○	宿泊施設利用者数、研修施設利用者数共に前年度実績を上回った。 宿泊施設：令和4年度 1,556人 令和5年度 1,893人（対前年度比 121.7%） 研修施設：令和4年度 1,277人 令和5年度 1,723人（対前年度比 134.9%）
直売所・食堂利用状況 （指定管理附帯業務）	○	食堂利用者数は前年度実績を上回ったが、直売所利用者数は前年度実績を下回った。 直売所：令和4年度 147,165人 令和5年度 134,485人（対前年度比 91.4%） 食 堂：令和4年度 36,657人 令和5年度 38,387人（対前年度比 104.7%）
自主事業	○	「南郷の日」イベント、新そばまつり、雪蛸まつり等を実施し、利用者確保につなげたほか、地域住民との交流促進と活性化を図っていた。
その他の取組 （運営に関する工夫）	○	季節による繁忙期や作業内容に応じ、南郷そば振興センターやジャズの館南郷間で人員を調整するなど、スケールメリットを活かした効率的な施設運営を行っていた。

3 収支状況

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明				
指定管理業務の収支状況	○	収支計画をおおむね達成し、黒字であった。				
		(単位：円)				
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績
		収入 ①	利 用 料 金	9,393,600	9,631,540	8,088,620
			指 定 管 理 料	0	0	0
			附帯業務繰入金	67,000,000	66,681,111	63,795,599
			自主事業繰入金	260,800	235,819	203,539
			電気・ガス価格高騰対策支援補助金	－	436,000	807,000
			東北電力節電達成特典金	－	26,223	－
			修繕料繰越金	37,646	37,646	15,834
			計	76,692,046	77,048,339	72,910,592
		支出 ②	人 件 費	50,210,000	51,269,196	47,827,884
			維持管理経費	20,852,440	19,969,718	19,916,700
			事業費・一般事務費	250,000	452,034	257,870
			租 税	5,053,600	5,147,871	4,794,183
			計	76,366,040	76,838,819	72,796,637
		次年度修繕料繰越金③		0	0	37,646
収入-支出(①-②-③)		326,006	209,520	76,309		
自主事業の収支状況	○	(単位：円)				
		事業名	収入	支出	収支	備考
		自動販売機 設置事業	235,819	15,821	219,998	収入は自動販売機 の販売手数料

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	施設内に意見箱を設置し、利用者の意見や要望を反映させていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページ等で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	意見箱を設置していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等がなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。 ・包装紙の代わりとして、新聞紙の再利用に努めた。
障がい者への配慮	○	来館者の話をよく聞き、話が的確に伝わるように明確に、ゆっくり、丁寧に話し、必要に応じてパンフレット等の資料で説明を行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング

自主点検状況	実施状況
	・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・電気、水道、ガス等のメーターを毎日2回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。

2 定期モニタリング

定期報告状況	実施状況
	月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	12回	4月4日、21日	GL、担当	・施設運営状況、修繕状況等の確認
		5月15日、25日	担当	・備品納品検査
		6月20日、30日	担当	・修繕箇所確認、備品納品検査
		9月12日、20日	担当	・修繕箇所確認、打合せ
		10月6日	担当	・次年度計画に係る打合せ
		11月1日	担当	・打合せ
		2月19日	担当	・個人情報取扱状況実地検査
		3月28日	担当	・打合せ
	実施結果			
施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、協議して修繕対応若しくは修繕計画に反映させた。				

※GL：グループリーダー

令和5年度 指定管理者年度総合評価表

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

作成日	令和6年6月4日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市南郷そば振興センター	
所在地	八戸市南郷大字中野字館野1-1	
施設概要	設置目的：南郷の特産物であるそばの生産及び消費拡大を図り、地場産業の育成に努める。 構造：鉄骨造平屋建て 運用方針：南郷の特産物である「そば」の安定的な生産と消費拡大に資する。	
指定管理者	名称	なんごうプラザ株式会社
	代表者	代表取締役 曾我 安博
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢44-33
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
指定管理者の業務	・八戸市南郷そば振興センターの使用許可に関する業務 ・八戸市南郷そば振興センターの施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市所管課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ	
	電話	0178-82-2113 (直通)
	e-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	令和5年度も、そば生産者との調整を綿密に行うことで、刈り取り作業を滞りなく終えることができた。 令和5年度は、記録的な猛暑の影響を受け、そばの収穫量が減少し、乾燥・選別作業の利用料金収入が大きく減少した。また、施設繁忙期のみ雇用していた短期アルバイトの確保が困難になっており、通年雇用した影響で人件費が増加した。しかし、南郷そばの周知、宣伝のために道の駅なんごうで営業しているそば屋台では、販売単価の見直しや、ご飯物・かき氷などのメニューの追加、土日祝日が好天に恵まれたことで、年間売上を大きく向上させることができ、年間収支は黒字を達成することができた。 老朽化による施設内設備、備品についても、市と相談・協議しながら年次計画を立て、更新することができた。
今後の目標	施設の特異性から、機械設備の維持管理が重要な業務であると考えている。繁忙期の円滑な作業のために、日頃のメンテナンスを怠ることなく、また、施設利用者とのコミュニケーションも大切にしていきたい。 天候の影響により業務量が左右され、運営が難しい施設ではあるが、地域の重要な役割を担う施設であると考えており、今後も、南郷そばの周知・宣伝により、地域の特産品の知名度を向上させることで、施設の利用率向上につなげていきたい。

■市（所管課）の総合評価

評価	日常業務において施設及び備品の状態確認を行い、小破修繕の迅速な対応及び点検の実施など適切な管理運営を行っていた。 当該施設利用者のほとんどがそば生産者であり、天候やそばに係る各種施策等により取扱数量が大きく左右される中、生産者との連絡調整を確実にし滞りなく業務を遂行していた。
指摘事項	特になし。

〔評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能〕

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。 ・繁忙期となるそば収穫期は、利用者の利便を図るため、休日も開館していた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況	—	障がい者の雇用はなかった。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	○	減免手続きが適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
付保する保険	○	協定書で指定する保険に加入していた。 ・自動車保険（任意）に加入していた。
指定管理開始前における準備	—	前期（令和元年度～5年度）に引き続き、今期（令和6年度～10年度）においても継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特種業務については、外部委託を実施しており、報告書等で実施内容を確認した。 ・消防設備点検 ・電気保安業務 ・機械警備 浄化槽保守点検

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
そば刈取・乾燥調整業務利用状況（指定管理業務）	○	そばの作付け作業前の段階から生産者と連絡を取り合うことで施設の利用調整を図り、滞りなく作業を実施した。 刈取面積：令和4年度 2,062a 令和5年度 2,083a（対前年度比 101.0%） 乾燥調整：令和4年度 151t 令和5年度 89t（対前年度比 58.9%） ・取扱量は天候や作況等により変動するものであるため、数値による評価はしない。
施設貸出利用状況（指定管理業務）	○	利用状況は、おおむね例年並みであった。 乾燥設備：令和4年度 100人 令和5年度 91人 選別設備：令和4年度 111人 令和5年度 98人 製粉設備：令和4年度 54人 令和5年度 48人 製麺設備：令和4年度 0人 令和5年度 0人 汎用コンバイン：令和4年度 31人 令和5年度 28人
その他の取組（運営に関する工夫）	○	繁忙期となるそば収穫期は、利用者の利便を図るため、休日も開館し、作業を滞りなく実施した。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																																		
指定管理業務の収支状況	○	適切な業務運営により、黒字であった。																																																																		
		(単位：円)																																																																		
		<table><tr><td></td><td>項目</td><td>収支計画</td><td>収支実績</td><td>前年度実績</td></tr><tr><td rowspan="6">収入①</td><td>利 用 料 金</td><td>6,100,000</td><td>3,673,074</td><td>5,258,555</td></tr><tr><td>指 定 管 理 料</td><td>10,688,000</td><td>10,688,000</td><td>11,062,000</td></tr><tr><td>附 帯 事 業 収 入</td><td>3,700,000</td><td>6,437,440</td><td>3,412,320</td></tr><tr><td>特産そば産地形成奨励金</td><td>1,000,000</td><td>1,041,500</td><td>1,008,500</td></tr><tr><td>電気・ガス価格高騰対策支援補助金</td><td>-</td><td>106,000</td><td>193,000</td></tr><tr><td>修繕料繰越金</td><td>3,736</td><td>3,736</td><td>326,710</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>21,491,736</td><td>21,949,750</td><td>21,261,085</td></tr><tr><td rowspan="5">支出②</td><td>人 件 費</td><td>9,960,000</td><td>12,192,083</td><td>10,039,081</td></tr><tr><td>維持管理経費</td><td>5,221,280</td><td>5,223,345</td><td>6,206,005</td></tr><tr><td>事業費・一般事務費</td><td>5,130,000</td><td>2,898,830</td><td>3,773,281</td></tr><tr><td>租 税</td><td>1,012,768</td><td>1,257,052</td><td>1,025,618</td></tr><tr><td>計</td><td>21,324,048</td><td>21,571,310</td><td>21,043,985</td></tr><tr><td></td><td>次年度修繕料繰越金③</td><td>0</td><td>0</td><td>3,736</td></tr><tr><td></td><td>収入-支出(①-②-③)</td><td>167,688</td><td>378,440</td><td>213,364</td></tr></table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利 用 料 金	6,100,000	3,673,074	5,258,555	指 定 管 理 料	10,688,000	10,688,000	11,062,000	附 帯 事 業 収 入	3,700,000	6,437,440	3,412,320	特産そば産地形成奨励金	1,000,000	1,041,500	1,008,500	電気・ガス価格高騰対策支援補助金	-	106,000	193,000	修繕料繰越金	3,736	3,736	326,710		計	21,491,736	21,949,750	21,261,085	支出②	人 件 費	9,960,000	12,192,083	10,039,081	維持管理経費	5,221,280	5,223,345	6,206,005	事業費・一般事務費	5,130,000	2,898,830	3,773,281	租 税	1,012,768	1,257,052	1,025,618	計	21,324,048	21,571,310	21,043,985		次年度修繕料繰越金③	0	0	3,736		収入-支出(①-②-③)	167,688	378,440	213,364
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																														
		収入①	利 用 料 金	6,100,000	3,673,074	5,258,555																																																														
			指 定 管 理 料	10,688,000	10,688,000	11,062,000																																																														
			附 帯 事 業 収 入	3,700,000	6,437,440	3,412,320																																																														
			特産そば産地形成奨励金	1,000,000	1,041,500	1,008,500																																																														
			電気・ガス価格高騰対策支援補助金	-	106,000	193,000																																																														
			修繕料繰越金	3,736	3,736	326,710																																																														
			計	21,491,736	21,949,750	21,261,085																																																														
		支出②	人 件 費	9,960,000	12,192,083	10,039,081																																																														
			維持管理経費	5,221,280	5,223,345	6,206,005																																																														
			事業費・一般事務費	5,130,000	2,898,830	3,773,281																																																														
			租 税	1,012,768	1,257,052	1,025,618																																																														
計	21,324,048		21,571,310	21,043,985																																																																
	次年度修繕料繰越金③	0	0	3,736																																																																
	収入-支出(①-②-③)	167,688	378,440	213,364																																																																

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者は主にそば生産者であり、事前に協議する等、利用者の満足が得られるような体制をとっていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設の概要をホームページにより周知していた。 ・ホームページのほか、新規利用者にはその都度利用方法を説明した。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。

苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等がなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した省エネルギーへの取組や、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	来館者の話をよく聞き、話が的確に伝わるように明確に、ゆっくり、丁寧に話し、必要に応じてパンフレット等の資料で説明を行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況 ・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・電気、水道のメーターを毎日2回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況 月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	8 回	4月4日、21日	GL、担当	・ 施設運営状況、修繕状況等の確認
		5月22日	担当	・ 現地確認
		6月14日	担当	・ 備品納入検査
		9月8日、28日	担当	・ 備品納入検査、現地確認
		10月17日	担当	・ 次年度計画に係る打合せ
		2月19日	担当	・ 個人情報取扱状況実地検査
	実施結果			
	施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、協議して修繕対応若しくは修繕計画に反映させた。			

※GL：グループリーダー

令和5年度 指定管理者年度総合評価表

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

作成日	令和6年6月4日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	ジャズの館南郷	
所在地	八戸市南郷大字中野字館野4-4	
施設概要	設置目的：地域住民に文化的交流の場を提供し、ジャズを通じた広域的な交流により地域の活性化を図る。 構造：鉄筋コンクリート造 平屋建て 運用方針：ジャズを通じて他地域の住民との交流と地域の活性化を図る。	
指定管理者	名称	なんごうプラザ株式会社
	代表者	代表取締役 曾我 安博
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢44-33
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
指定管理者の業務	・ジャズの館南郷の使用許可に関する業務 ・ジャズの館南郷の施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市所管課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ	
	電話	0178-82-2113 (直通)
	e-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	当施設は、南郷地域のシンボリックな施設であり、地域内で通年ジャズに触れることのできる唯一の場所である。 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより来館者が増加した。ジャズを楽しむために来館する利用者以外にも、デザートを購入して休憩する利用者や、屋外のそば屋台購入者による利用も増加した。 昨年度まで自粛していた無料ジャズライブも再開し、年間を通じ4回実施することができた。このうちの1回を毎年11月に開催されている「南郷産業文化まつり」とタイアップしたことで、新たな客層の誘客につながったと考えている。
今後の目標	引き続き、年4回の無料ジャズライブや自主事業でのライブを開催し、利用者の増加を図る。このうち1回は、令和5年度同様、南郷産業文化まつりの日程に合わせて開催し、新たな利用者を誘客したい。 さらに、販売が好調なソフトクリームサーバーを利用したデザートメニューについても、新たなメニューを考案し、利用者の増加を図り、施設の活性化に寄与したい。

■市（所管課）の総合評価

評価	施設及び備品の点検や清掃業務を堅実に行ったほか、経年劣化による備品等の修繕は、市と連絡を密にしながら実施した。また、優れた音響機器を活用し、利用者にジャズを体感してもらうジャズタイムを実施するなど、利用者の多様なニーズに対応すべく努めた。 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、年4回のジャズライブを再開したことや、道の駅利用者へ施設周知促進活動を積極的に行ったことで、利用者数を大きく向上させた。
指摘事項	特になし。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況	—	障がい者の雇用はなかった。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	○	減免手続きが適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	前期（令和元年度～5年度）に引き続き、今期（令和6年度～10年度）においても継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 （使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特種業務については、外部委託を実施し、報告書等で実施内容を確認した。 ・消防設備点検 ・建築設備点検 ・機械警備 ・ピアノ調律

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明			
施設利用状況 (指定管理業務)	○	施設利用者数は前年度を大きく上回った。 令和4年度 385人 令和5年度 985人（対前年度比 255.8%）			
ジャズイベント実施状況 (指定管理附帯業務)	○	無料ジャズイベントを開催し、集客に努めた。 令和4年度 0人（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止） 令和5年度 445人（対前年度比 ー） (イベント内容)			
		5月	馬場葉子 Piano Trio	75人	
		9月	I.M.O SPECIAL JAZZ LIVE	130人	
		11月	中沢中学校ジャズバンド部ライブ(2部制)	170人	
		3月	八戸ジャズ楽団Special Trio Live	70人	
自主事業	○	無料開放時間帯を、ランチタイムと音響機器を活用したジャズタイムに分け、軽食や休憩目的の利用者、音楽鑑賞を目的とする利用者、双方に満足してもらえるように努めた。			
		無料開放時来館者	令和4年度	11,994人	
			令和5年度	17,356人	(対前年度比 144.7%)
		飲食利用者数	令和4年度	5,521人	
			令和5年度	7,310人	(対前年度比 132.4%)

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																														
指定管理業務の収支状況	○	収支計画を達成し、黒字であった。 (単位：円) <table><tr><td></td><th>項目</th><th>収支計画</th><th>収支実績</th><th>前年度実績</th></tr><tr><td rowspan="5">収入①</td><td>利 用 料 金</td><td>93,960</td><td>133,920</td><td>74,520</td></tr><tr><td>指 定 管 理 料</td><td>6,760,000</td><td>6,760,000</td><td>6,852,000</td></tr><tr><td>自主事業繰入金</td><td>400,000</td><td>856,793</td><td>501,867</td></tr><tr><td>電気・ガス価格高騰対策支援補助金</td><td>-</td><td>62,000</td><td>104,000</td></tr><tr><td>修繕料繰越金</td><td>114,800</td><td>114,800</td><td>30,868</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>7,368,760</td><td>7,927,513</td><td>7,563,255</td></tr><tr><td rowspan="5">支出②</td><td>人 件 費</td><td>3,955,000</td><td>3,657,801</td><td>3,761,112</td></tr><tr><td>維持管理経費</td><td>2,172,120</td><td>2,552,824</td><td>2,432,168</td></tr><tr><td>事業費・一般事務費</td><td>792,400</td><td>663,898</td><td>91,504</td></tr><tr><td>租 税</td><td>400,385</td><td>428,253</td><td>458,143</td></tr><tr><td>計</td><td>7,319,905</td><td>7,302,776</td><td>6,742,927</td></tr><tr><td></td><td>次年度修繕料繰越金③</td><td>0</td><td>0</td><td>114,800</td></tr><tr><td></td><td>収入-支出(①-②-③)</td><td>48,855</td><td>624,737</td><td>705,528</td></tr></table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利 用 料 金	93,960	133,920	74,520	指 定 管 理 料	6,760,000	6,760,000	6,852,000	自主事業繰入金	400,000	856,793	501,867	電気・ガス価格高騰対策支援補助金	-	62,000	104,000	修繕料繰越金	114,800	114,800	30,868		計	7,368,760	7,927,513	7,563,255	支出②	人 件 費	3,955,000	3,657,801	3,761,112	維持管理経費	2,172,120	2,552,824	2,432,168	事業費・一般事務費	792,400	663,898	91,504	租 税	400,385	428,253	458,143	計	7,319,905	7,302,776	6,742,927		次年度修繕料繰越金③	0	0	114,800		収入-支出(①-②-③)	48,855	624,737	705,528
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																										
		収入①	利 用 料 金	93,960	133,920	74,520																																																										
			指 定 管 理 料	6,760,000	6,760,000	6,852,000																																																										
			自主事業繰入金	400,000	856,793	501,867																																																										
			電気・ガス価格高騰対策支援補助金	-	62,000	104,000																																																										
			修繕料繰越金	114,800	114,800	30,868																																																										
			計	7,368,760	7,927,513	7,563,255																																																										
		支出②	人 件 費	3,955,000	3,657,801	3,761,112																																																										
			維持管理経費	2,172,120	2,552,824	2,432,168																																																										
			事業費・一般事務費	792,400	663,898	91,504																																																										
			租 税	400,385	428,253	458,143																																																										
			計	7,319,905	7,302,776	6,742,927																																																										
			次年度修繕料繰越金③	0	0	114,800																																																										
			収入-支出(①-②-③)	48,855	624,737	705,528																																																										
自主事業の収支状況	○	レストラン事業の認知度向上の取組を継続した結果、売上が大幅に増加した。 レストラン事業 (単位：円) <table><tr><td></td><th>収支実績 (5年度)</th><th>前年度実績 (4年度)</th><th>備考</th></tr><tr><td>収入</td><td>2,774,085</td><td>836,427</td><td>飲食代売上げ</td></tr><tr><td>支出</td><td>1,917,292</td><td>334,560</td><td>食材仕入代</td></tr><tr><td>収入-支出</td><td>856,793</td><td>501,867</td><td></td></tr></table>		収支実績 (5年度)	前年度実績 (4年度)	備考	収入	2,774,085	836,427	飲食代売上げ	支出	1,917,292	334,560	食材仕入代	収入-支出	856,793	501,867																																															
			収支実績 (5年度)	前年度実績 (4年度)	備考																																																											
		収入	2,774,085	836,427	飲食代売上げ																																																											
		支出	1,917,292	334,560	食材仕入代																																																											
		収入-支出	856,793	501,867																																																												

4 運営に係る体制整備等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	接客時の会話等により、利用者の満足度の把握に努めていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページで積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	意見箱を設置していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等がなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	来館者の話をよく聞き、話が的確に伝わるように明確に、ゆっくり、丁寧に話し、必要に応じてパンフレット等の資料で説明を行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・電気、水道のメーターを毎日2回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。

2 定期モニタリング	
	実施状況
定期報告状況	月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	6 回	4月4日、21日	GL、担当	・施設運営状況、修繕状況等の確認
		10月6日	担当	・次年度計画に係る打合せ
		11月9日	担当	・打合せ
		2月19日	担当	・個人情報取扱状況実地検査
		3月28日	担当	・打合せ
	実施結果			
	施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、協議して修繕対応若しくは修繕計画に反映させた。			

※GL：グループリーダー